

平成26年 6月30日

資料提供先 福山市政記者クラブ、尾道市記者クラブ、三原新聞記者クラブ

「道路構造物の老朽化対策」パネル展を開催します ～ 計画的かつ効率的な道路管理の実現に向けて～

高度経済成長期に集中的に整備された多くの橋梁やトンネルなどの道路インフラの老朽化の進行に伴い、これらの補修や更新を行う必要性が高まっています。

このため、道路インフラの補修や更新をいかに的確に対応していくかが重要な課題となっており、関係機関と連携して道路施設の老朽化対策に取り組んでいくこととしています。

今回、道路施設の現状や課題等を広く皆様にご理解いただくことを目的に、福山市役所、三原市民ギャラリーなどでパネル展を開催しますのでお知らせします。

◆ 開催場所及び開催時期

①福山市役所 1階ロビー

期間：平成26年7月1日（火）～ 7月4日（金）、7月11日（金）、7月14日（月）

②今津パーキング 施設内

期間：平成26年7月9日（水）～ 7月23日（水）

③ピアシティ三原 2階の三原市民ギャラリー（三原市城町1丁目2番）

期間：平成26年7月9日（水）～ 7月23日（水）

お問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 福山河川国道事務所

副 所 長 さわぐち としき
沢口 俊樹

【担 当】道路管理第二課長 やまうち かずのり
山内 和則

TEL (084) 923 - 2620 (代表) FAX (084) 923 - 2517

ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/fukuyama/>

【広報担当窓口】調査設計第二課長 いまち かずまさ
井町 和正

TEL (084) 923 - 2620 (代表)



中国地方整備局 道路構造物の老朽化対策

<http://www.cgr.mlit.go.jp/chiki/doyroj/hozen/hozen.htm>

◆ 「道路構造物の老朽化対策」 パネル展について

展示パネル(一例)

国が管理する橋梁の老朽化の現状

●中国地方整備局が管理する橋梁は、平成25年4月1日現在3,138橋(L=2m以上)であり、高度経済成長期(1955年～1973年)に全体の約4割にあたる約1,350橋が建設されています。今後これら橋梁の高齢化が一斉に進むことから、補修・架替えが必要となることが想定されます。中国地方整備局における建設50年以上を経過した橋梁箇所数の占める割合は、現在の約25%から20年後には約60%にまで急激に増加します。

架設年次別の橋梁箇所数分布

経過年数別橋梁数 (L=2m以上)

老朽化対策とは

●高度成長期に集中して建設された多くの橋梁等の道路構造物の高齢化が急速に進んでいく状況であり、一部の施設で老朽化による劣化が顕著な状態に達しました。一方、多くの道路構造物を管理している地方公共団体においては、これらの対策を推進することが重要なものの、技術、資金、人材不足等の課題を抱えています。このため大切な資産である道路ストック(=資産)を長く大事に保全するとともに、安全で安心な道路機能の確保や構造物のライフサイクルコストの削減等を図るため、定期的な点検により早期に損傷を発見し、対策を実施します。

●予防保全の事例
雨水による支那の腐食(昭和48年建設) → 金属溶射にて補修

橋梁点検による損傷の発見と対応(例)

老朽化のメカニズム

●橋の代表的な損傷には、橋の三大損傷とされる「塩害」「アルカリ骨材反応」「疲労」があり、放置することにより劣化が進み、橋の安全性に影響を及ぼす劣化要因となります。この他にも、雨水による鋼材の腐食や凍害・中性化が原因となるコンクリートの剥離など、さまざまな損傷原因があり、その原因に即した対応が必要となる定期的なメンテナンスが必要となります。

◆架設後50年以上が経過し架け替えに至った事例

●厚東川大橋(山口県宇部市藤曲)
・1953年建設(コンクリート橋)
*塩害による劣化、下部工の腐食が激しいため、1997年に架け替え(経年数42年)

●国道188号 新青橋(山口県国市川下町)
・1953年建設(コンクリート橋+鋼橋)
*主桁、下部工の腐食が激しいため、2012年に架け替え(経年数54年)

長寿命化計画

●メンテナンスサイクルの構築
安全安心を確保するため、点検→診断→措置→記録→(次の点検)というメンテナンスサイクルを通じて、長寿命化計画※等の内容を充実し、予防的な保全を効率的、効果的に進めます。

橋梁のイメージ

長寿命化計画

去る4月14日、社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会は、『最後の警告』として、一刻も早い本格的なメンテナンス体制の構築を求める提言を、国土交通大臣へ手交しました。

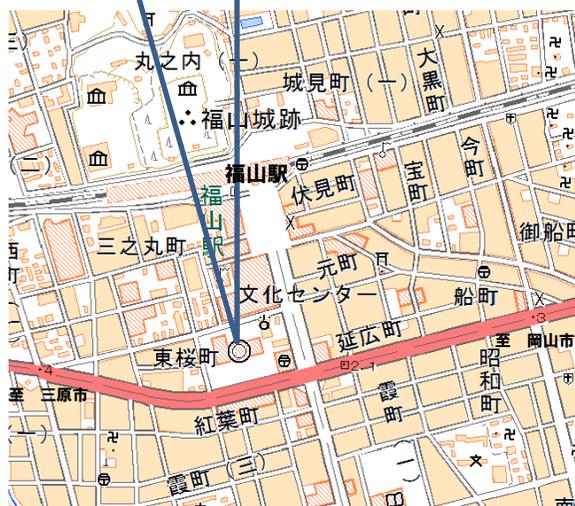
わが国の道路施設の多くは、戦後本格的な整備が始まり、高度経済成長期に多くの橋やトンネルなどが建設されてきました。今後、これらの施設は、急速に高齢化が進行し、計画的に修繕を行わなければ、将来大きな負担が生じることとなります。

このため、必要なインフラ機能を維持・向上させ、国民生活への影響を最小化するには、計画的かつ効率的な道路管理を実施する必要があります。

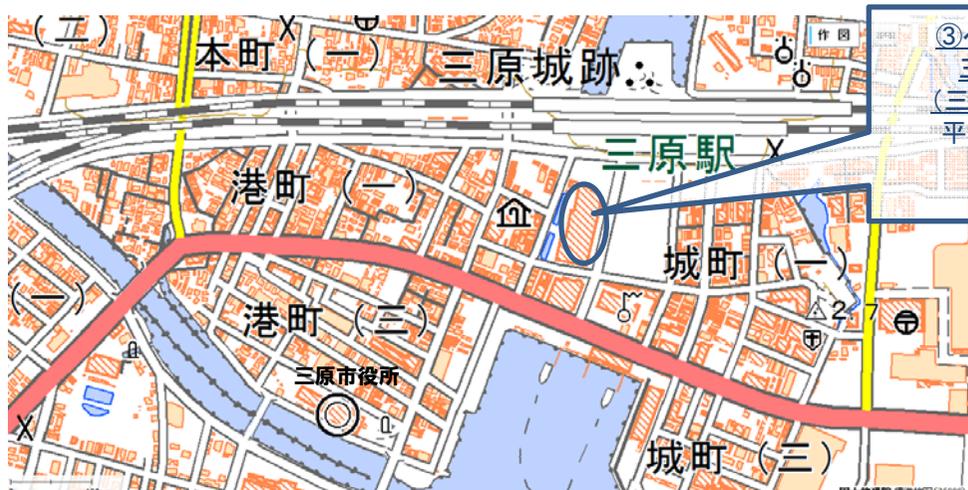
◆ 「道路構造物の老朽化対策」パネル展会場図

②今津パーキング 施設内
 平成26年7月9日(水)
 ~ 7月23日(水)
 時間: 平日8:00~21:00、
 土日・祝日9:00~20:00

①福山市役所 1階ロビー
 平成26年7月1日(火)~7月4日(金)、
 7月11日(金)、7月14日(月)
 時間: 8:30~17:00



出所: 国土地理院「電子国土」



出所: 国土地理院「電子国土」

③ペアシティ三原2階の
 三原市民ギャラリー
 (三原市城町1丁目2番)
 平成26年7月9日(水)
 ~ 7月23日(水)
 時間: 9:00~20:00